

校長室だより
NO. 7
平成30年5月7日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

「1年生を迎える会」で1年生は梅っ子の仲間入りです

4月27日（金）、1年生を迎える会が開催されました。同時にJRC（青少年赤十字）入会式も行われました。こどもの日が近いということで、校舎や体育館に取り付けられていたこいのぼりを会場の体育館の中に付け替えました。これにより、季節感が感じられ、にぎやかな雰囲気の中で、全校の子どもたちが1年生を梅園小の仲間を迎えようとする気持ちのこもった集会となりました。

本校は、3年前より異学年交流として、1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生が学級単位の交流をしてきました。本年度は、1年の学級数が5学級になったことから、1年1組と5組は6年1組と交流し、他は2組どうし、3組どうし、4組どうしというような学級の組み合わせとしました。このような活動は、給食を一緒に食べたりするなど生活全般で行っていきます。主に上級生は下級生の世話をすることを通して、思いやりの心を育て、また下級生が上級生を尊敬する気持ちも芽生えることをねらっています。しかし、逆に、上級生が下級生と上手く接することができなかつたりすることもあり、上級生の人との接し方の勉強となつたりもしています。

そんな活動のスタートとして、この「1年生を迎える会」を位置付けています。この会の始まりである1年生の入場は、これから1年間のペア交流を行っていく6年生が、ペアの1年生の手を引いて入場し、それを全校の子どもたちが拍手で迎えました。緊張気味の1年生ではありましたが、6年生と手をつないで歩く姿は、微笑ましく感じました。

会は、君の会の趣旨を説明する話や、6年のMAXの子どもによる学校紹介がされました。学校紹介は、挨拶や返事、履き物の整頓をすることや梅園小の大樹「くすくん」、「しあわせくん」、「かえちゃん」などの名前の由来などが説明されました。

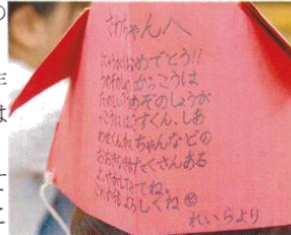
その後、6年生一人一人が1年生のために作った手作り兜のプレゼントがありました。緊張していた1年生は思わず笑顔になり、少しずつ打ち解けてきた瞬間でした。その兜の背面には、6年生からのメッセージが書かれていました。その内容からも、思いのこもった兜であることが分かりました。そのメッセージを一部紹介します。



6年生とともに入場する1年生



6年生からの兜のプレゼント



兜の後ろに書かれたメッセージ

○ ちゃんへ より
 すいなちゃんは、とても げんきで、かわいくて、もっと なかよくなりたいたいとおもったよ。すいなちゃんは、もう がっこうに なれたかな？ がっこうは たのしい じゅぎょうや ぎょうじが あって、すぐ たのしいから、たくさん たのしんでね。これから ペアとして なかよく していこうね。

○ くんへ より
 にゅうがく おめでとう。こうきくんは、いまの いちねんせいは、たのしいですか。ぼくが、いちねんせいの ころ、さいしょは とても ふあんだったけど、みんなと なかよくしている うちに しょうがっこうが とても すきになったので、こうきくんも しょうがっこうを すきになつてね。まえの こうりゅうかい とても たのしかったよ。これからも いちねんかん よろしくね。

○ くんへ より
 これから いちねんかん よろしくね。もし はなせるなら、すきな たべものや うたも ききたいな。たくさん はなして あそぼう。そして、たくさんのおもいでを つくろうね。じゃんけんで ぜったいに かつ ほうほうをおしえるから いちねんご じゃんけんした とき、ぼくに かってね。がっこうは たのしいから いつも えがおで たくさん のともだちを つくってね。

○ ちゃんへ より
 まおちゃんが げんきに たのしく すごせる ように という おもいを こめて かぶとをつくったよ。よろこんで くれると とても うれしいな。わたしは、げんきで おもしろい まおちゃんが だいすきだよ。これから いちねん なかよく しょうね。よろしくね。

どの文からも、6年生が1年生を思いやる優しい気持ちと、これからのペアとしての生活を楽しみにしていることが伝わってきます。既に1年のペアの子のよさを見つけ、仲良くなろうとしていたり、自分の経験をもとに1年生の立場になっていたり、もっと行動を共にしたいという気持ちを強めていたり、兜づくりにもいろいろな思いを込めていることを表したりしています。本当にうれしくなるようなメッセージ文ばかりです。きっと、このような6年生の気持ちは、これからの活動を通して1年生に届いていくことでしょう。

そして、全校での「梅園プライド」の合唱をして、JRC入会式に入っていました。最後の退場では、入場とは違った梅園小の仲間となった1年生が、何か堂々と歩いているように見えました。

このように、全校の子どもたちで温かく1年生を梅園小の仲間に迎えることができました。そして、1年生は、徐々に小学生らしく成長していくことと思います。なお、4月28日(土)の東海愛知新聞に取り上げられていたので、裏面で紹介します。



「梅園プライド」を元気に歌う1・6年生



兜をかぶって6年生と退場する1年生

岡崎 ようこそ新1年生

梅園小 手作りかぶと贈り歓迎会

岡崎市梅園小学校で二十七日、二年生を迎える会が開かれ、会費児童八百二人が参加した。

一年生の入学を祝い、より同校に親しみを持つてもらおうと、先輩、児童が中心になつて毎年この時期に実施。「こどもの日」（五月五日）に近いことから、会場の体育館にはこの飾りが飾られた。

一年生が六年生と手をつないで入場すると、二年生の児童が拍手で迎えた。開会時は六年生の代表児童が「ようこそ、梅園

小学校へ。きょうをきつかけに、梅園小学校のいしを築いてね」と歓迎した。学校紹介コーナーでは、スライドを使って「こまくん」の愛称で親しまれている樹齢百年超の校内のクスノキ、同校児童が力を入れて取り組んだ「学頓とあいさつどろ」学校の特色を紹介した。また、六年生は一年生に手作りの兜をプレゼント。兜には二年間よろしくね「いい思い出をつくろうね」

などの言葉が書き込まれた。最後に全員で同校の歌「梅園アライド」を歌った。（瀬田沙貴）



一年生（中央）に兜をかぶせる二年生
岡崎市梅園小学校で